

2018年度 決算概要

2019年5月13日

業績ハイライト

2

2018年度決算

2018年度 決算概要	3
コア業務純益の増減要因	4
コア業務粗利益	5
経費・OHR	6
預貸金利回り・有価証券利鞘	7
貸出金	8-10
預金	11
預り資産	12
有価証券運用	13-14
信用コスト・開示債権	15
統合シナジー	16
2019年度業績見通し	17
配当・株主還元方針／自己資本比率	18

* 特に表示がないものについては「銀行単体」の計数をもとに作成しています。

業績ハイライト

2018年度実績

FG連結純利益^(*1)は、前年度実績および業績予想を上回る。子銀行では、役務取引等利益および貸出金利息が増加し、私募投信解約益を除いたコア業務純益も増益。

➤ FG連結純利益^(*1) : 463億円(2017年度比+32億円)(業績予想比+13億円)

(*1) 親会社株主に帰属する当期純利益

2019年度業績見通し

有価証券利鞘の減少やシステム統合費用の増加を主因に、減益計画となる。

➤ FG連結純利益^(*1) : 400億円(2018年度比△63億円)

(*1) 親会社株主に帰属する当期純利益

2019年度株主還元

➤ 年間配当 : 一株あたり11円(2018年度同水準)

➤ 還元方針 : 2019年度以降の還元方針は、総還元性向^(*2) 30%以上を目安といたします。水準等は引続き検討してまいります。

(*2) 総還元性向 = (配当総額+自己株式取得総額) / 親会社株主に帰属する当期純利益

2018年度 決算概要

めぶきFG連結

(億円)

	2018年度	前年度比	業績予想 に対する 達成率
経常利益	695	+60	106.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	① 463	+32	102.9%

【連結調整等】 $\Delta 175$ 億円 = ② - ①

足利銀行の子会社からの受取配当金(特別損益で計上) $\Delta 120$ 億円
有価証券連単簿価差に伴う調整額 $\Delta 49$ 億円
劣後ローンの支払利息、経費等

銀行合算+銀行業以外のグループ会社

	2018年度	前年度比	業績予想 に対する 達成率
当期純利益	② 639	+125	103.0%

銀行業以外のグループ会社
純利益(合計) 38億円

銀行合算(単体)

(億円)

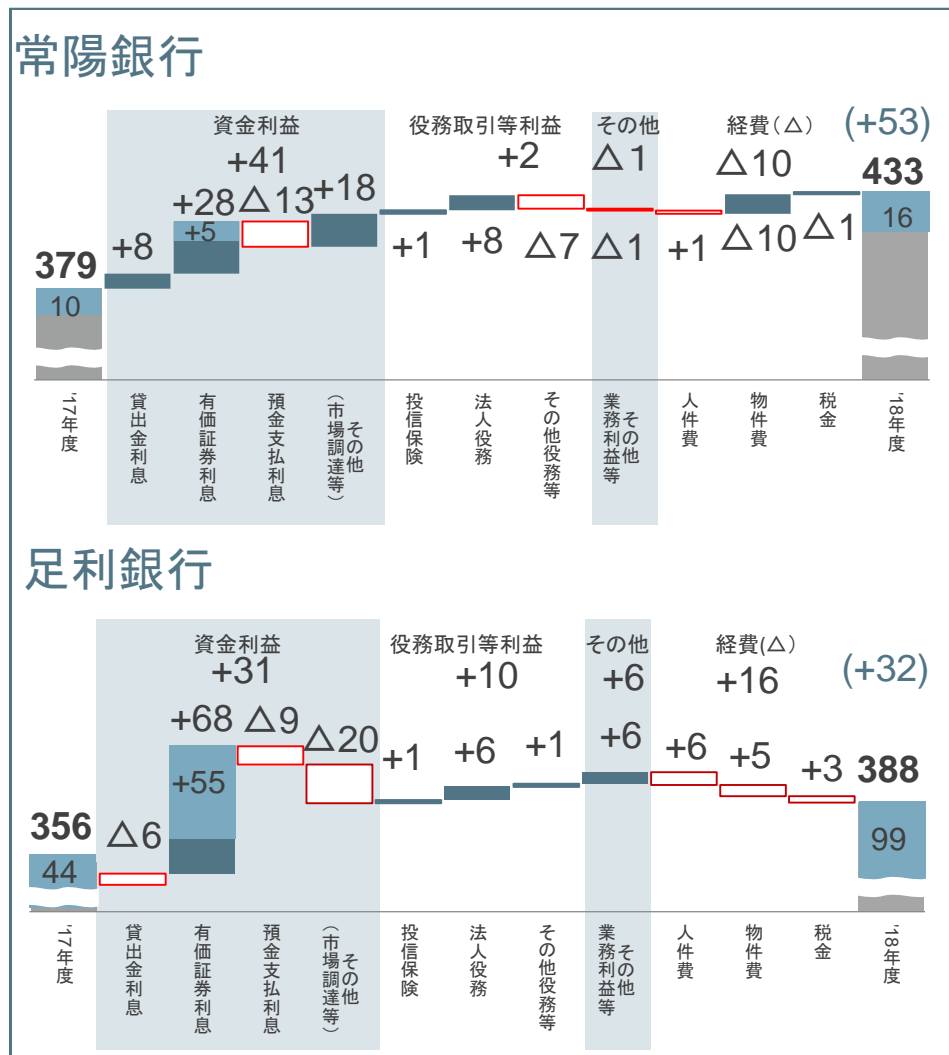
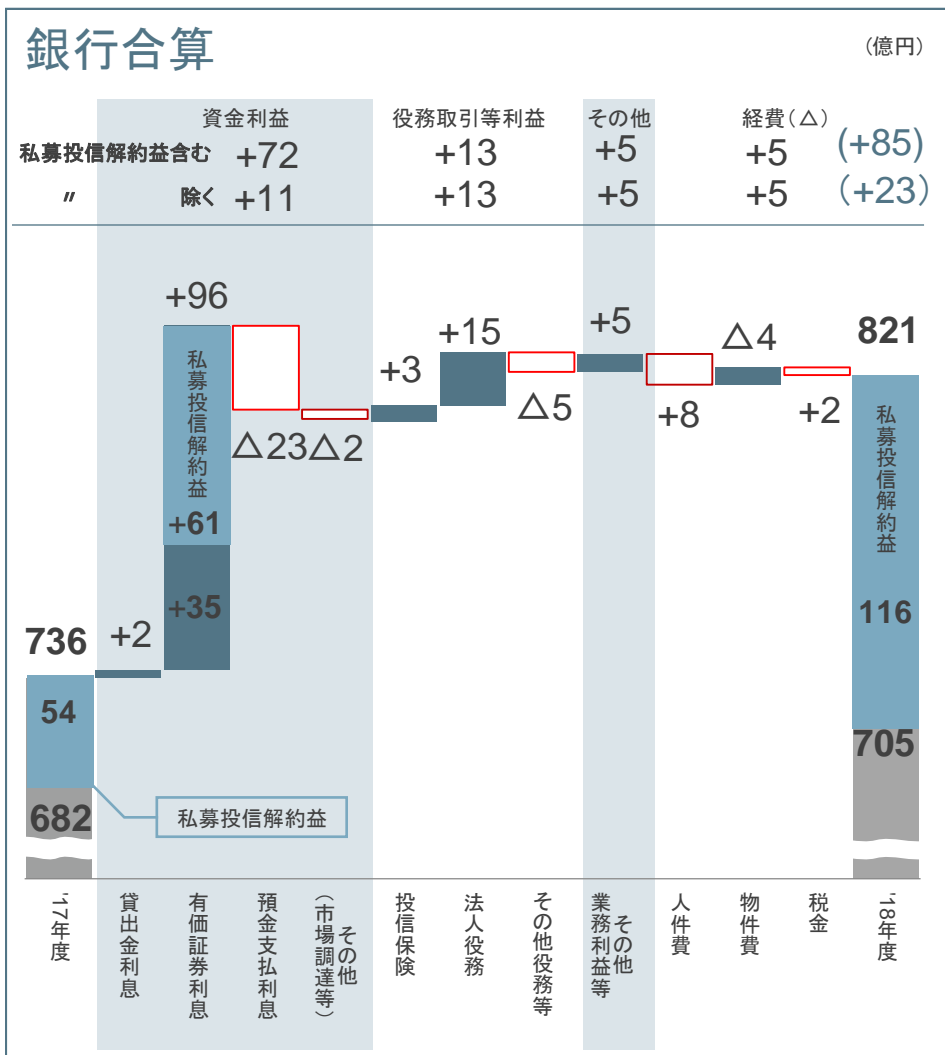
	2018年度						業績予想に対する達成率		
	銀行合算		常陽銀行		足利銀行		銀行合算	常陽銀行	足利銀行
	実績	前年度比	実績	前年度比	実績	前年度比			
業務粗利益	1,856	+48	1,012	+7	843	+40	102.8%	100.7%	105.4%
(コア業務粗利益)	1,963	+91	1,086	+42	877	+48	107.0%	104.9%	109.6%
資金利益	1,610	+72	899	+41	711	+31	107.7%	106.4%	109.3%
役務取引等利益	321	+13	172	+2	149	+10	102.0%	98.3%	106.7%
その他業務利益他	$\Delta 75$	$\Delta 37$	$\Delta 58$	$\Delta 36$	$\Delta 16$	$\Delta 1$	-	-	-
(うち国債等債券損益)	$\Delta 107$	$\Delta 42$	$\Delta 73$	$\Delta 34$	$\Delta 33$	$\Delta 7$	-	-	-
経費	1,141	+5	653	$\Delta 10$	488	+16	99.2%	99.0%	99.6%
うち人件費	606	+8	338	+1	268	+6	-	-	-
うち物件費	461	$\Delta 4$	277	$\Delta 10$	184	+5	-	-	-
実質業務純益	714	+42	359	+18	355	+24	109.0%	104.1%	114.5%
コア業務純益	821	+85	433	+53	388	+32	119.9%	115.5%	125.3%
一般貸倒引当金繰入額(a)	$\Delta 52$	$\Delta 37$	$\Delta 11$	$\Delta 8$	$\Delta 41$	$\Delta 29$	-	-	-
業務純益	766	+80	370	+26	396	+54	115.2%	104.3%	127.7%
臨時損益	$\Delta 47$	$\Delta 43$	61	+36	$\Delta 109$	$\Delta 80$	-	-	-
うち不良債権処理額(b)	145	+51	53	+1	91	+49	-	-	-
うち株式等関係損益	107	+2	124	+29	$\Delta 17$	$\Delta 27$	-	-	-
経常利益	718	+36	432	+62	286	$\Delta 26$	108.8%	112.2%	104.2%
特別損益	86	+97(*1)	$\Delta 25$	$\Delta 20$	111	+117	-	-	-
法人税等合計	204	+2	119	+10	85	$\Delta 7$	-	-	-
当期純利益	600	+131	287	+32	312	+99	104.3%	108.4%	100.9%
信用コスト (a)+(b)	93	+13	42	$\Delta 6$	50	+19	186.2%	143.0%	250.9%

(*1) 足利銀行の子会社からの配当受取120億円、店舗等に関する減損30億円(銀行合算)など

コア業務純益の増減要因

コア業務純益(銀行合算・私募投信解約益除く)は、前年度比+23億円。

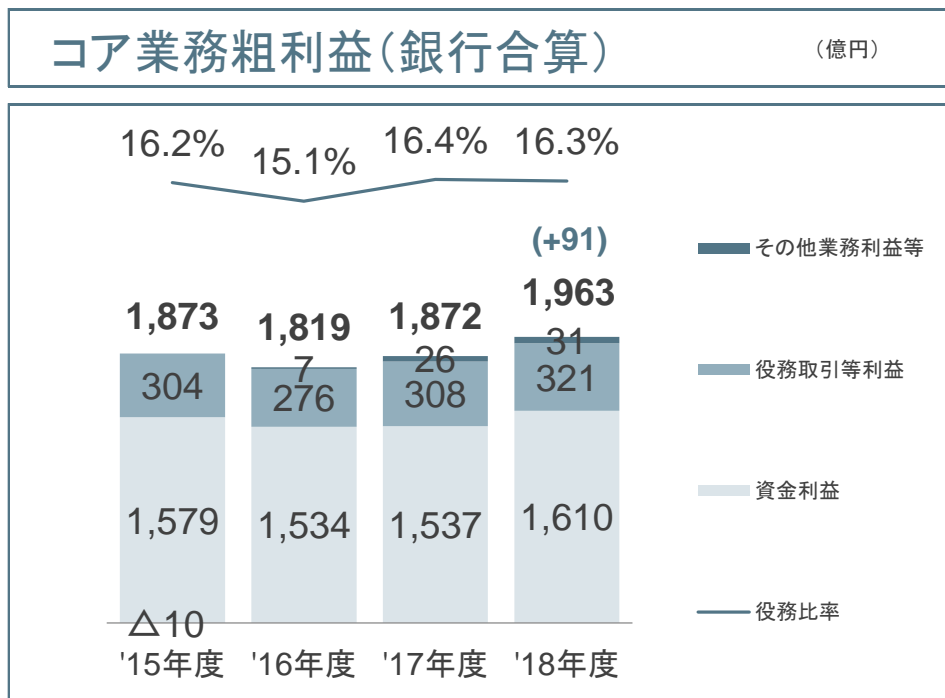
法人役務(役務取引等利益)が牽引。貸出金利息も増加に転じる。



コア業務粗利益 国債等債券損益を除く業務粗利益

* カッコ内は前年度比の増減

コア業務粗利益(銀行合算)は、前年度比+91億円。私募投信解約益+61億円控除後では、+29億円。役務取引等利益と資金利益(有価証券利息配当金)の増加が牽引。



(ご参考) 有価証券利息配当金に含まれる私募投信解約益 (億円)

	'16年度	'17年度	'18年度	前年度比
常陽	17	10	16	+6
足利	36	44	99	+55
合計	54	54	116	+61

資金利益の増減要因 (億円)

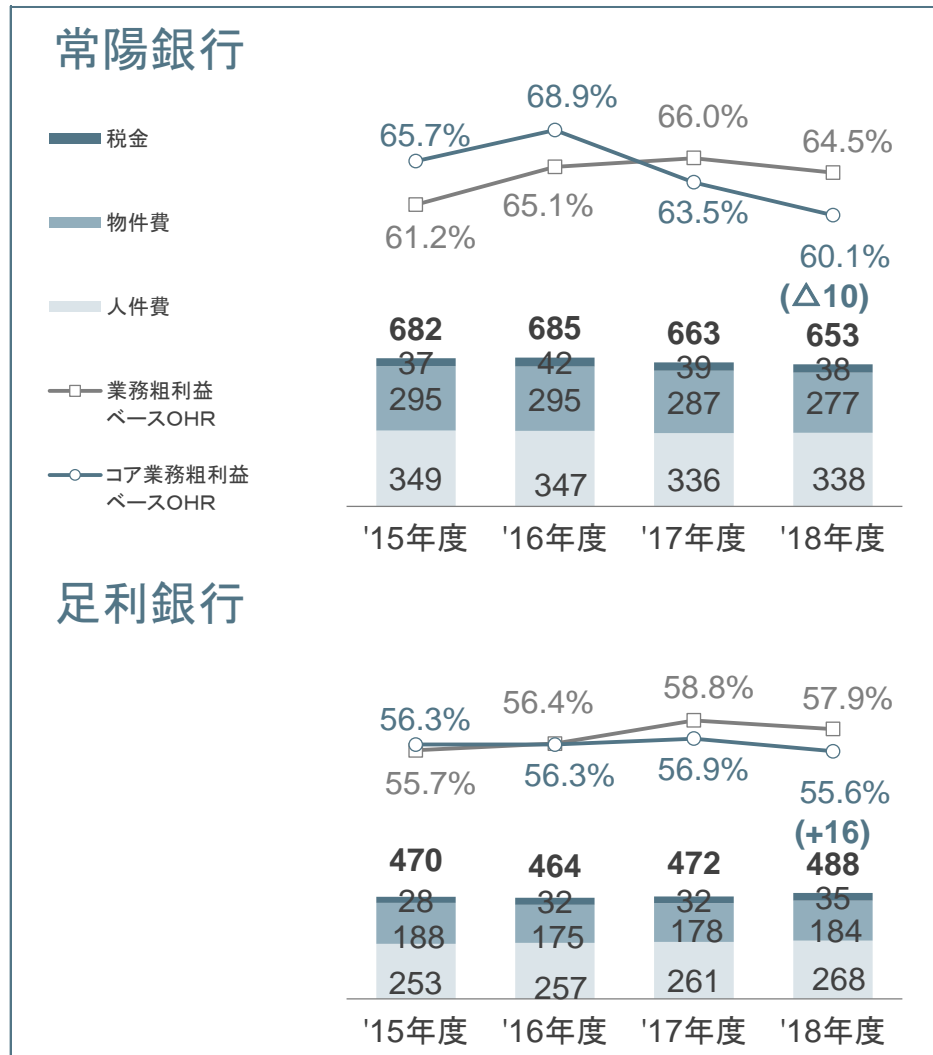
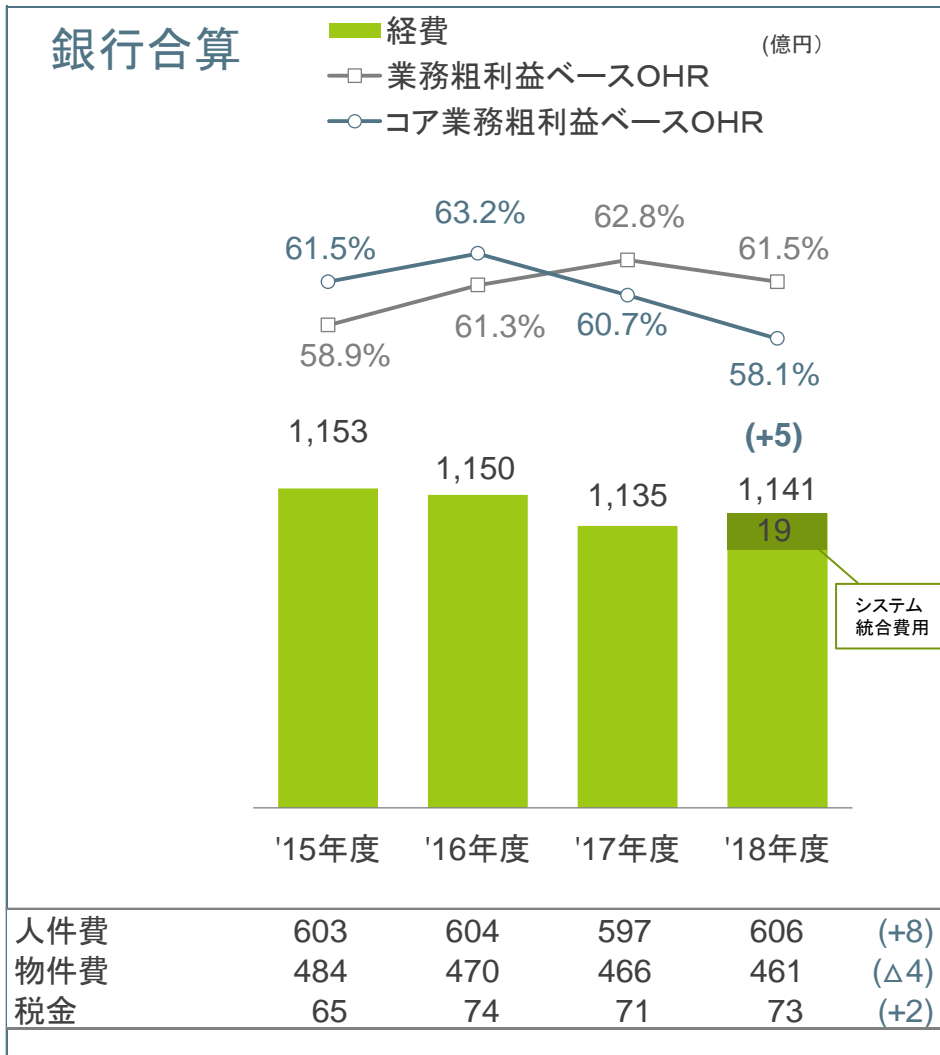
常陽銀行	要因	前年度比	(国内)		(国際)	
			平残	平残・利回り変化	平残	平残・利回り変化
貸出金利息	平残	+18	+14	(+1,423)	+3	(+160)
	利回り	Δ9	Δ22	(Δ3.7bp)	+12	(+94.0bp)
預金支払利息(Δ)		+13	Δ1	-	+15	-
有価証券利息配当金	平残	+19	+19	(+1,994)	Δ0	(Δ18)
	利回り	+9	+10	(+4.7bp)	Δ1	(Δ2.4bp)
市場調達・運用等(Δ)		Δ18	Δ6	-	Δ12	-
合計		+41	+29		+11	

足利銀行	要因	前年度比	(国内)		(国際)	
			平残	平残・利回り変化	平残	平残・利回り変化
貸出金利息	平残	+19	+18	(+1,695)	+1	(+45)
	利回り	Δ25	Δ26	(Δ6.2bp)	+1	(+84.9bp)
預金支払利息(Δ)		+9	Δ1	-	+11	-
有価証券利息配当金	平残	Δ4	Δ16	(Δ831)	+12	(+439)
	利回り	+72	+63	(+56.2bp)	+8	(+37.1bp)
市場調達・運用等(Δ)		+20	Δ0	-	+21	-
合計		+31	+40		Δ8	

経費・OHR

経費(銀行合算)は、システム統合費用増加を主因に前年度比+5億円。

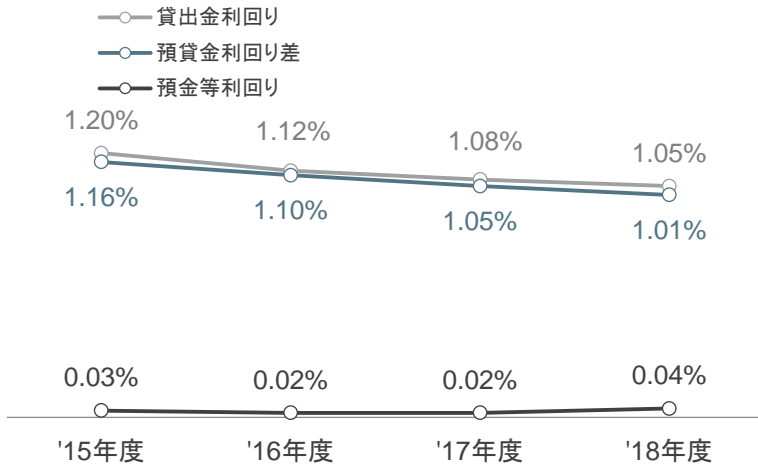
一方、OHRは(コア)業務粗利益の増加により前年度比改善。コア業務粗利益ベースでは58.1%まで低下。



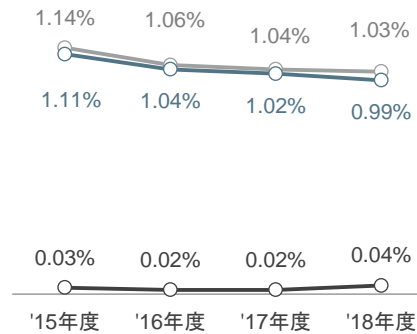
預貸金利回り・有価証券利鞘

預貸金利回り（国内＋国際）

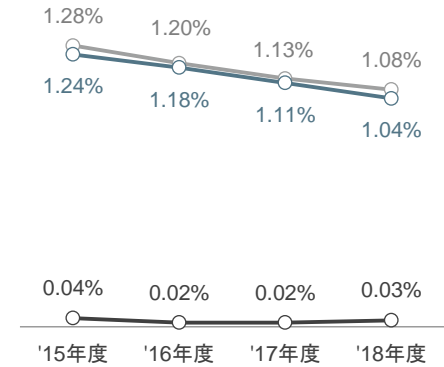
銀行合算



常陽銀行

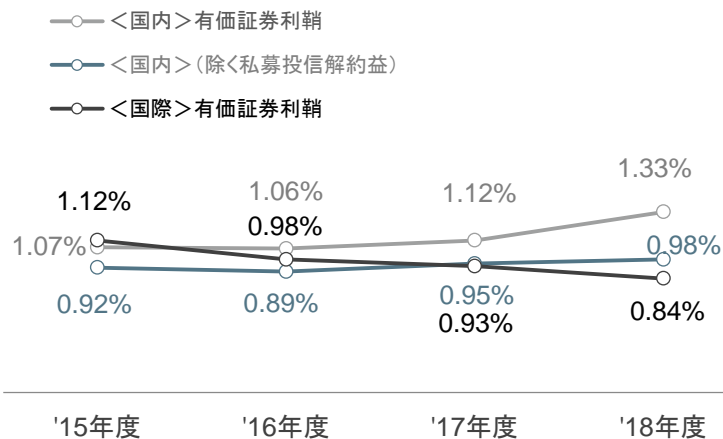


足利銀行

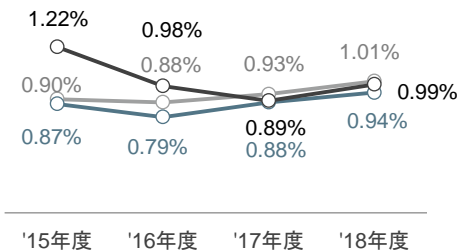


有価証券利鞘*（国内・国際）

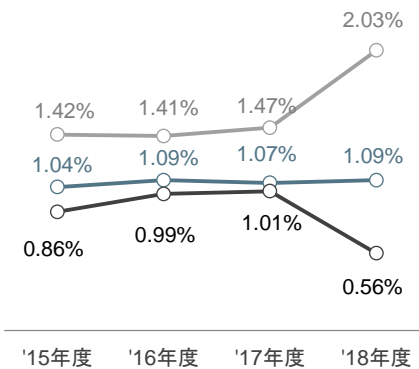
銀行合算



常陽銀行



足利銀行



*有価証券利鞘 = (有価証券収入 - 有価証券資金調達費用) / 有価証券平残

(有価証券資金調達費用 = 資金調達費用 - 貸出金等に充当するとみなす預金等利息)

貸出金(1) 末残

*カッコ内は前年度末比の増減

貸出金末残は、個人・法人ともに年率4%台で伸長。

全体では公共貸出金の減少により、年率2.5%の伸びにとどまる。

銀行合算

(億円)

* 財務省・特別会計借入金(2019/3月末 3,994億円)を含んでおりません。

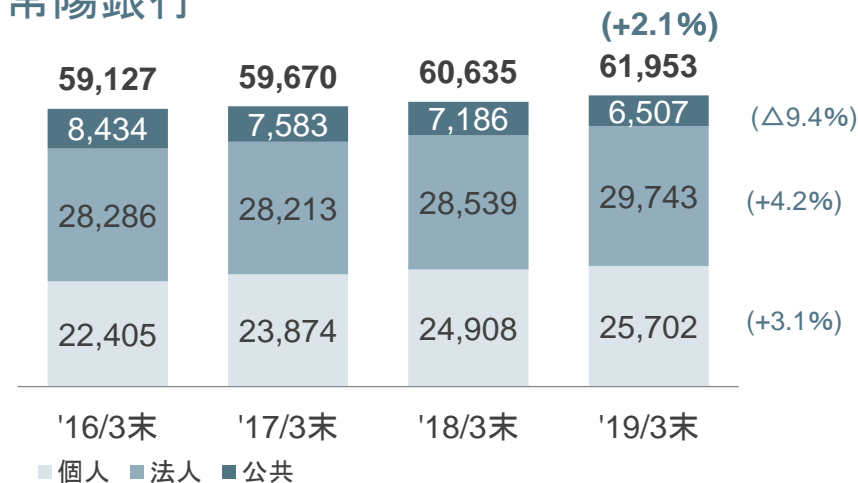


	'16/3末	'17/3末	'18/3末	'19/3末	増減率
個人(*1)	40,256	42,728	44,912	46,748	(+4.0%)
法人(*2)	48,131	48,096	49,359	51,391	(+4.1%)
公共	13,483	12,329	11,536	10,382	(Δ9.9%)

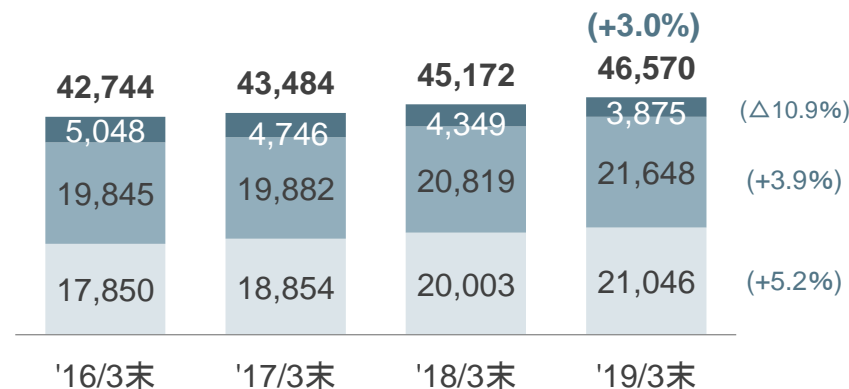
(*1) 個人事業主を含む。 (*2) 金融、外貨貸出金を含む。

うち外貨貸出金	'16/3末	'17/3末	'18/3末	'19/3末
常陽銀行	988	1,160	1,140	1,268
足利銀行	57	122	152	190
合計	1,045	1,283	1,292	1,458

常陽銀行



足利銀行



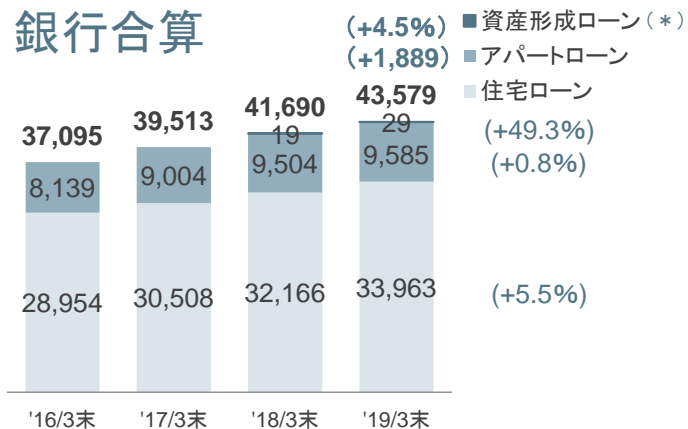
貸出金(2) 個人向け 住宅関連／無担保

*カッコ内は前年度末比の増減

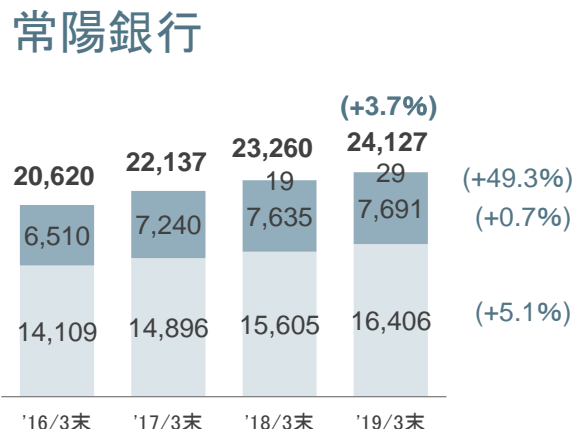
住宅関連ローン末残

(億円)

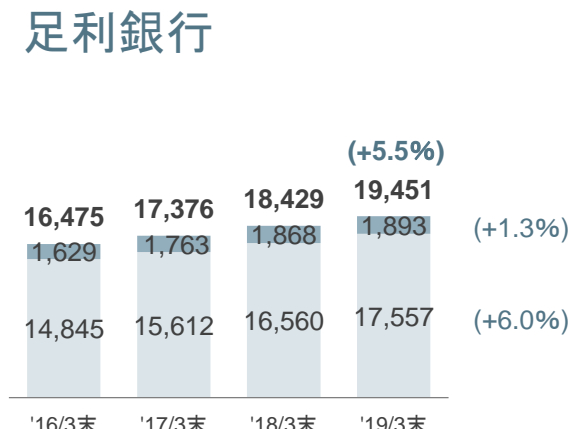
銀行合算



常陽銀行



足利銀行

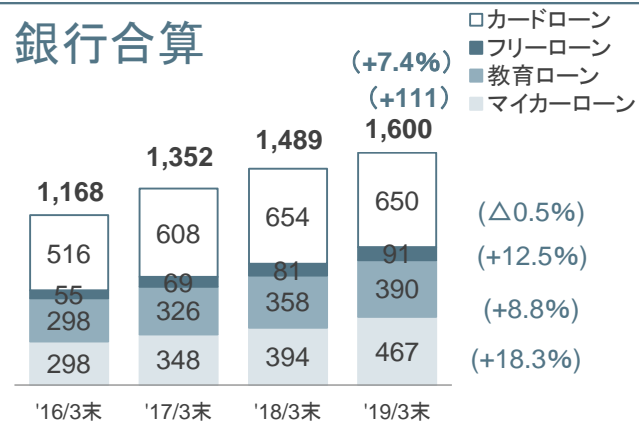


(*) 資産形成ローン：一定水準の年収を有する個人(給与所得者・事業主)を対象として、主に都内に所在する区分所有マンションの賃貸による資産形成ニーズに対応する商品(常陽銀行のみの取扱い)

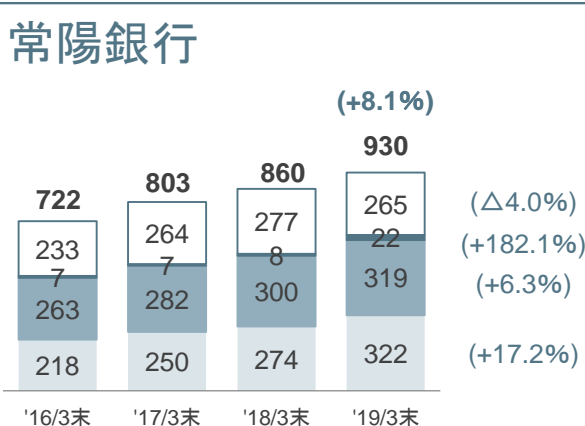
無担保ローン末残

(億円)

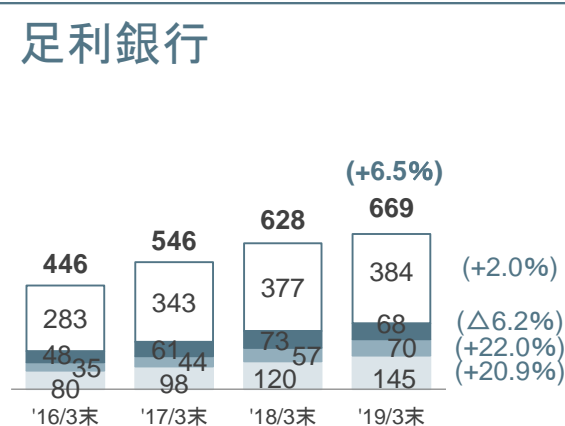
銀行合算



常陽銀行



足利銀行



* カードローンにはクレジットカードを含まず

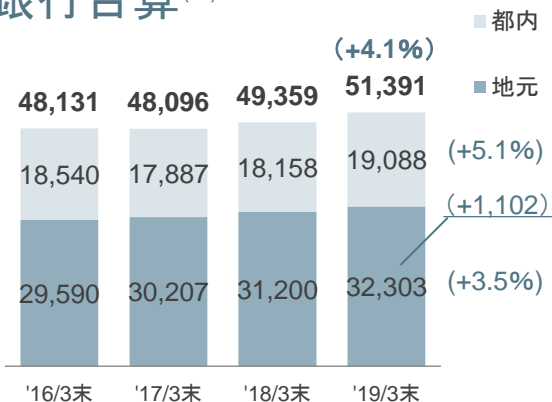
貸出金(3) 法人向け 地域別／企業規模別

*カッコ内は前年度末比の増減

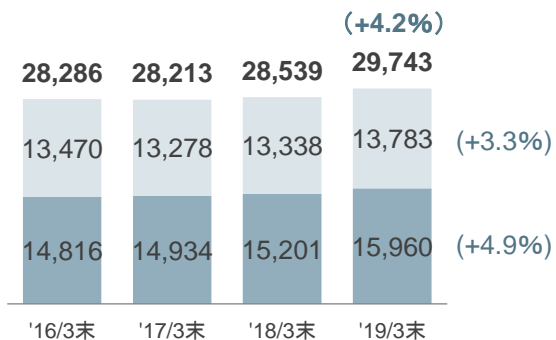
地域別末残

(億円)

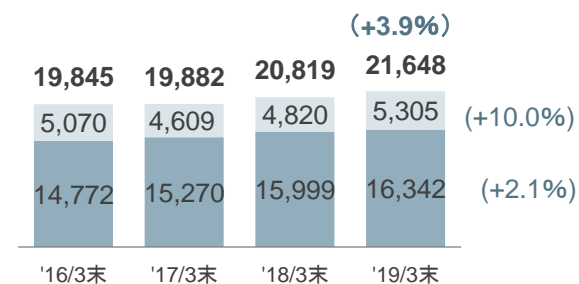
銀行合算(*)



常陽銀行



足利銀行(*)

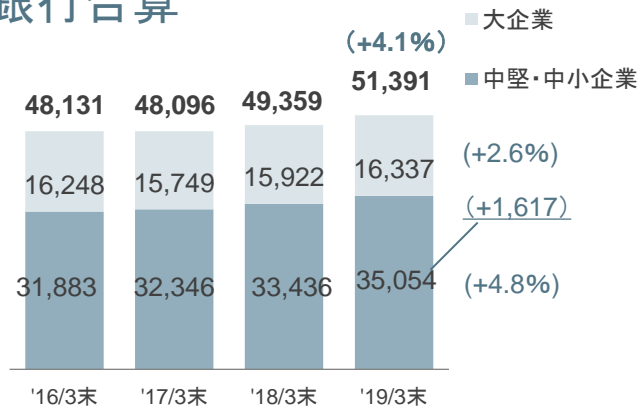


(*) 足利銀行において2018年度中に発生した地元から都内への大口貸出の移管(約230億円)の影響を控除した地元/都内の増減率は、銀行合算で4.2%/3.8%、足利銀行で3.8%/5.3%

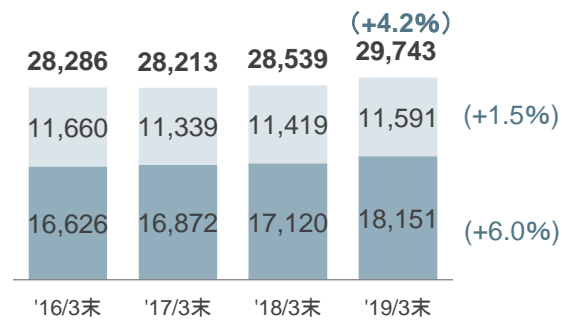
企業規模別末残

(億円)

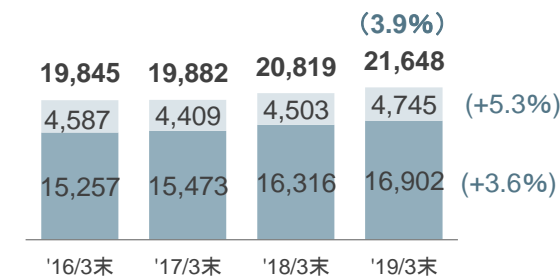
銀行合算



常陽銀行



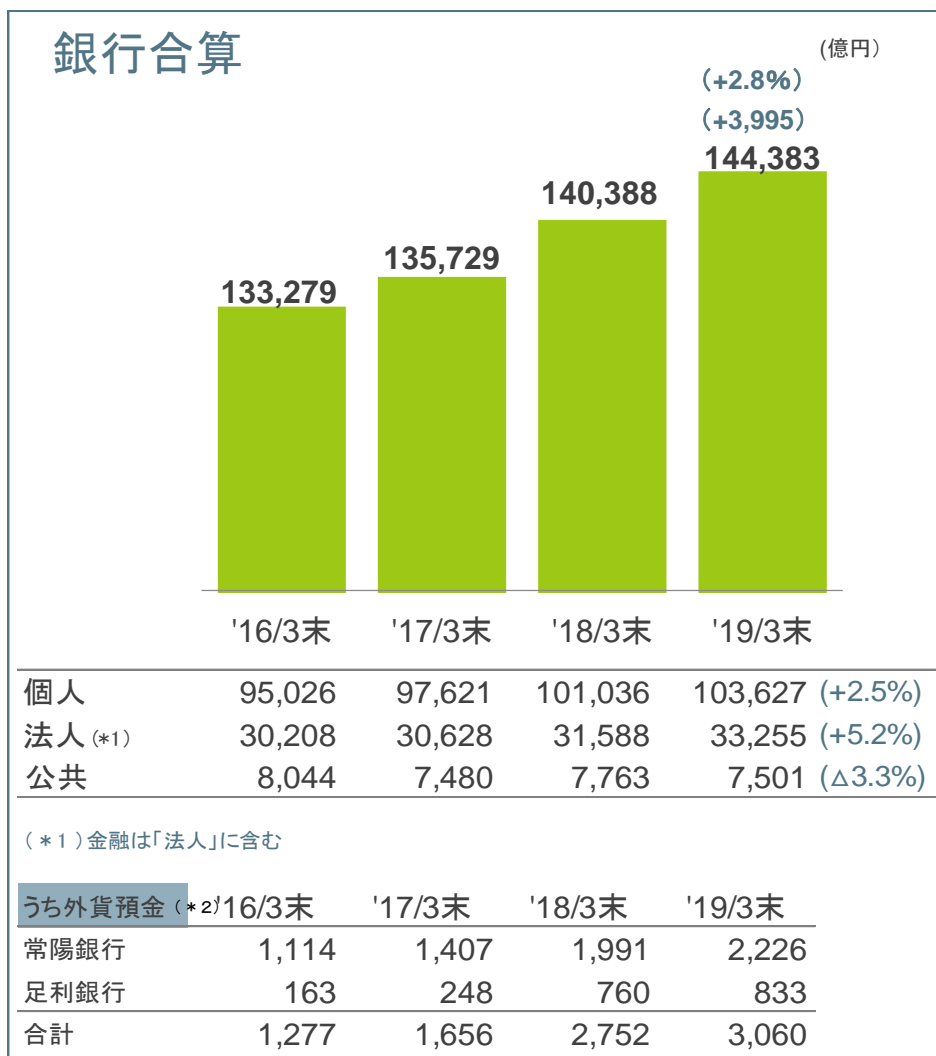
足利銀行



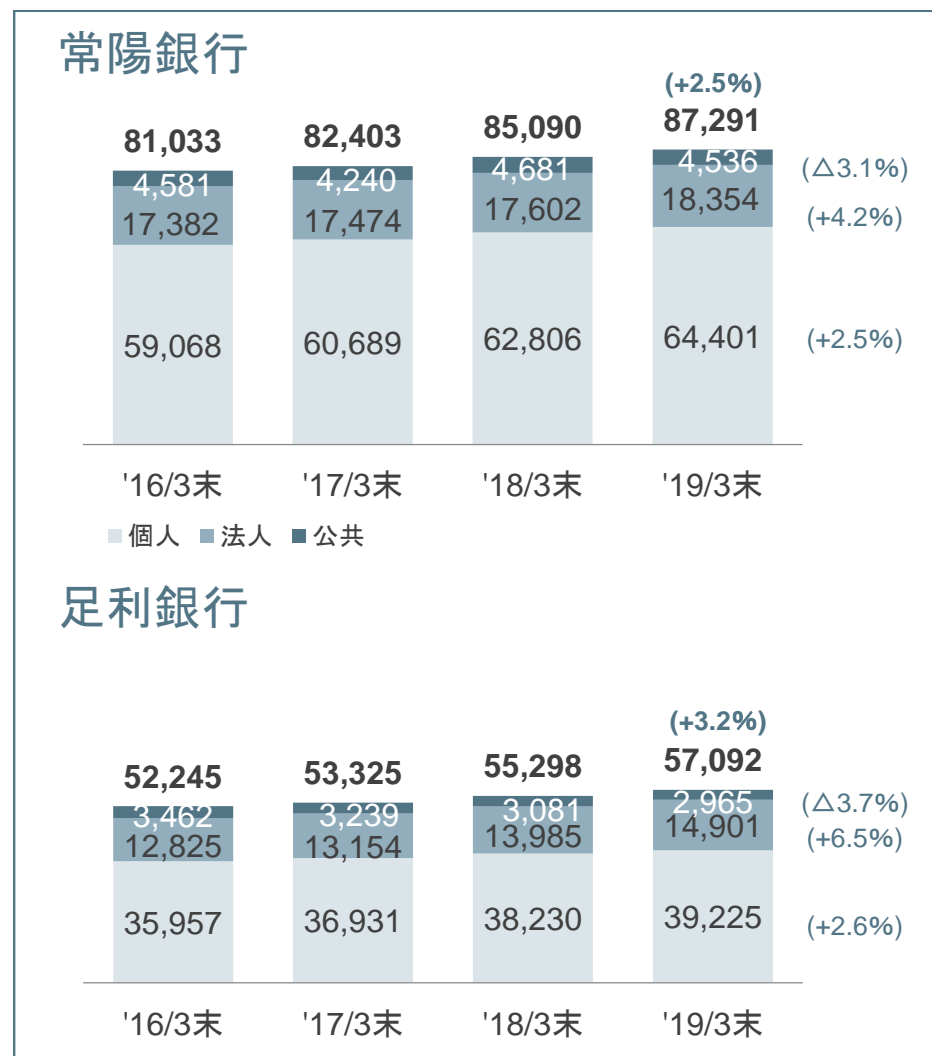
預金 末残

*カッコ内は前年度末比の増減

個人・法人ともに、増加基調継続(個人:年率+2.5%、法人:年率+5.2%)。



(* 2) 外貨預金には、為替予約付外貨預金、オフショア預金等を含む



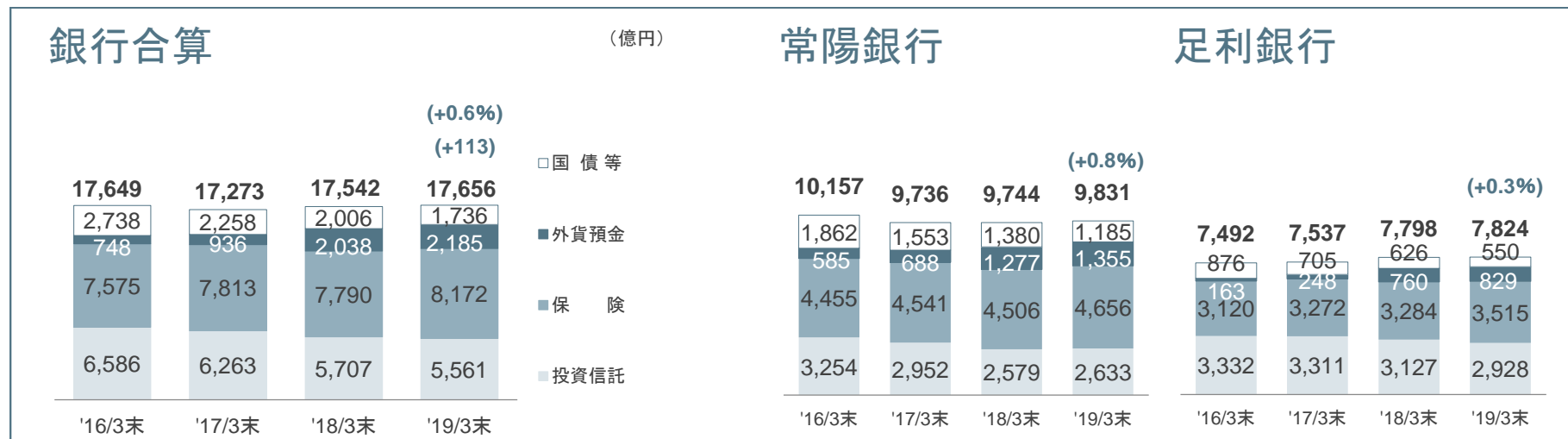
預り資産

* カッコ内は前年度末比の増減

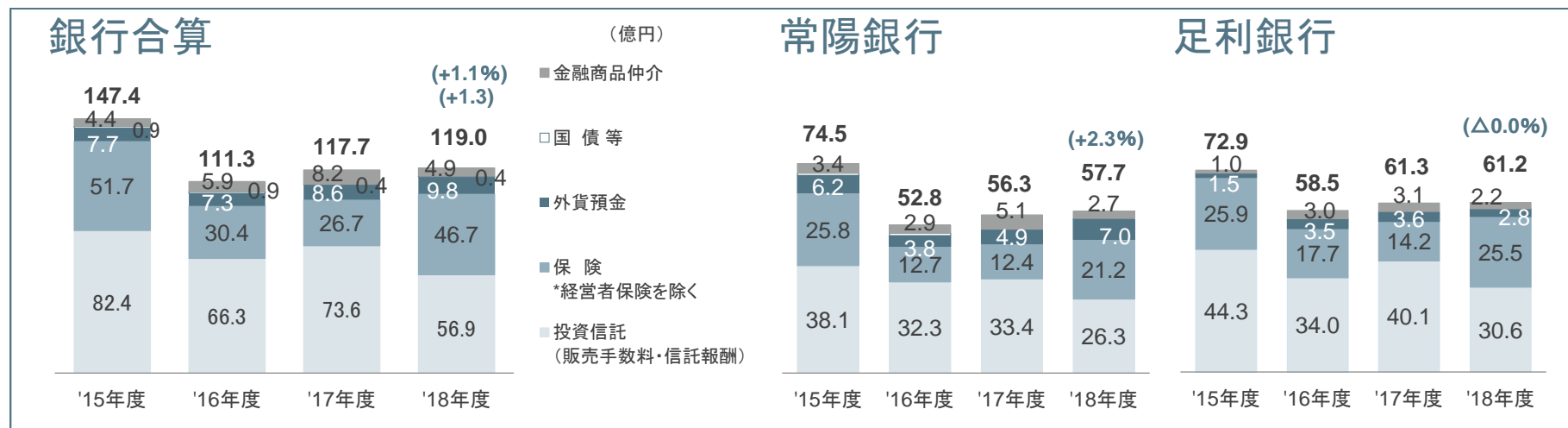
預り資産残高は、前年度末の水準から大きく変わらず。

手数料は、投資信託が減少の一方、保険手数料の増加により、全体でも前年度比増加。

預り資産残高



手数料

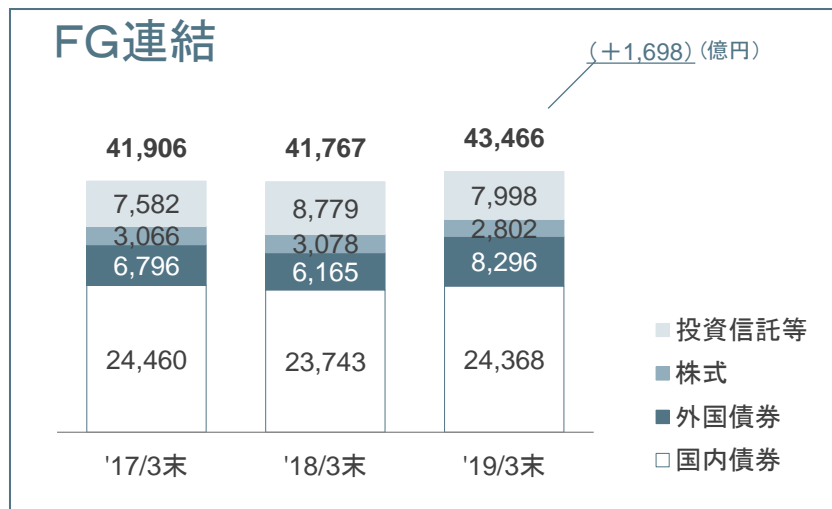


有価証券運用(1)

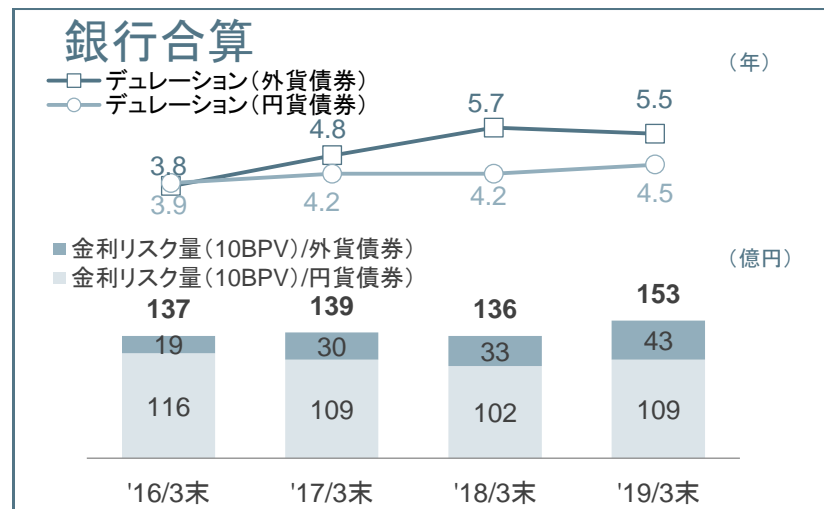
*カッコ内は前年度末比の増減

国内債券は、国債残高が償還により減少した一方、地方債等の購入により前年度末比で残高増加。
 外国債券は、米国政策金利見通しを踏まえ米国債券を減らした一方、欧州債券を中心に残高増加。

末残
 (貸借対照表計上額)



金利リスク



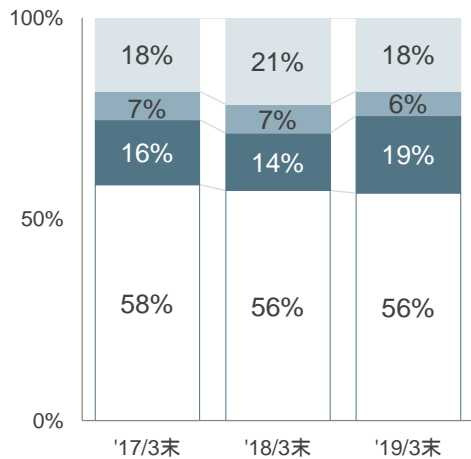
外債・投資信託等

(簿価ベース) 2019年3月末現在		銀行合算	常陽銀行	足利銀行	概要
		8,163	5,028	3,135	-
外債	うち国債・政府保証債・地方債等	3,859	2,845	1,014	うち欧州圏国債2,174億円
	うち事業債	3,337	1,215	2,121	格付けは9割以上が「A」以上
	うちジニーメイ	233	233	-	米国政府系の住宅ローン担保証券
	その他	734	734	-	CLO(最上位トランシェのみ)等の変動債中心
		7,800	4,439	3,360	
投資信託等	うち株式関連	2,166	1,768	397	ETFロング1,576億円、ペアETF590億円
	うちREIT	714	545	169	うち国内REIT558億円
	その他	4,918	2,126	2,792	うち外債ファンド3,632億円、うちオルタナティブファンド1,105億円など

有価証券運用(2)

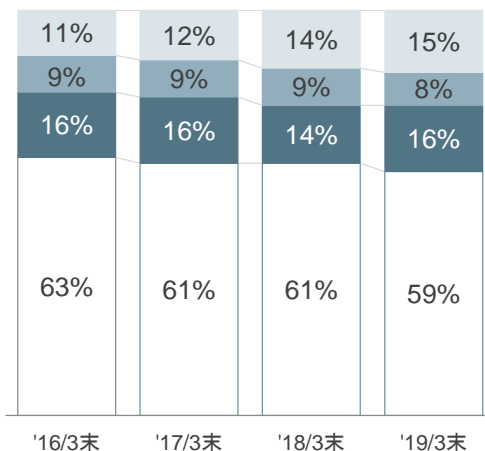
有価証券ポートフォリオ配分比率
(貸借対照表計上ベース)

FG連結

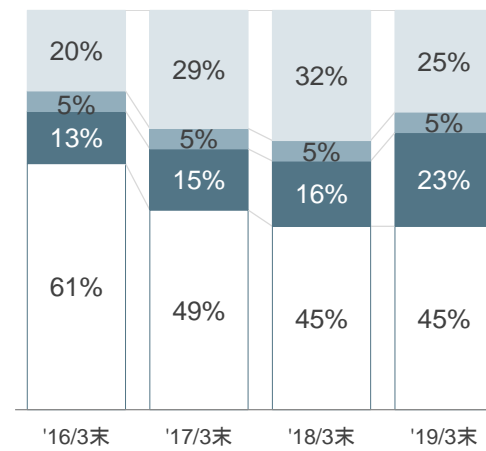


■ 投資信託等
■ 株式
■ 外国債券
□ 国内債券

常陽銀行(単体)

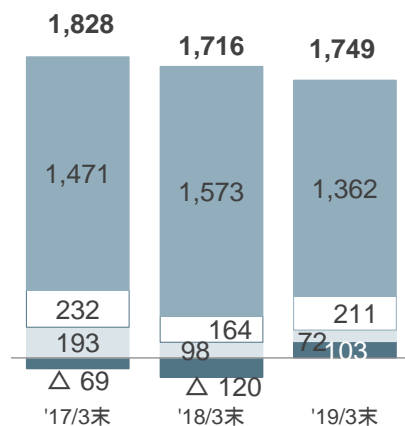


足利銀行(単体)



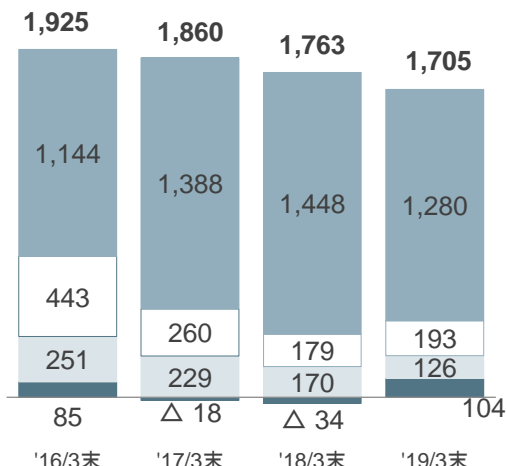
評価損益
(その他有価証券)

FG連結

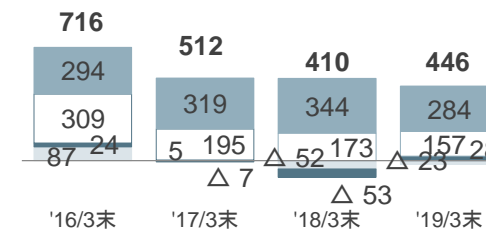


(億円)

常陽銀行(単体)

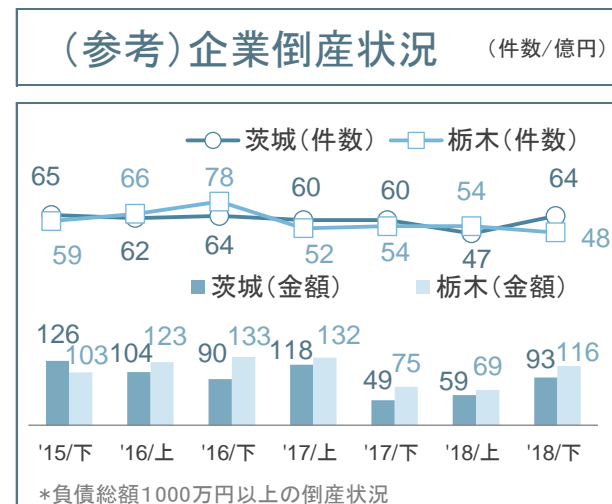
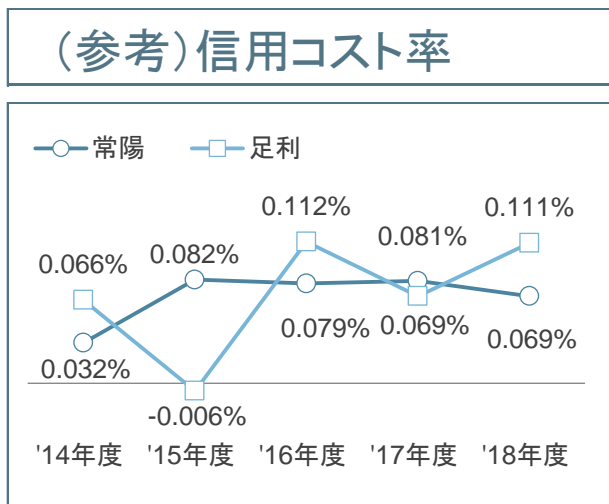
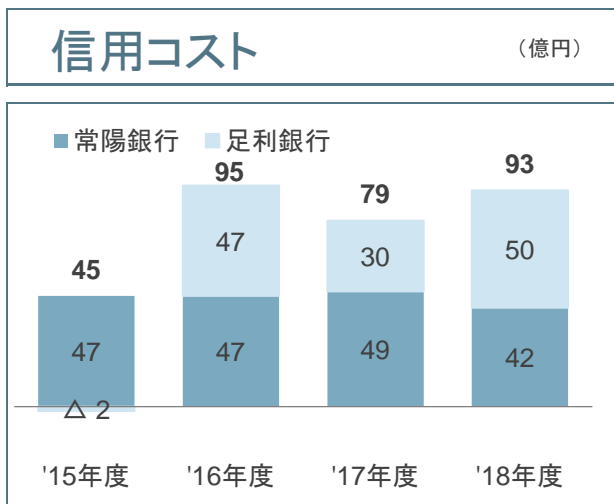


足利銀行(単体)

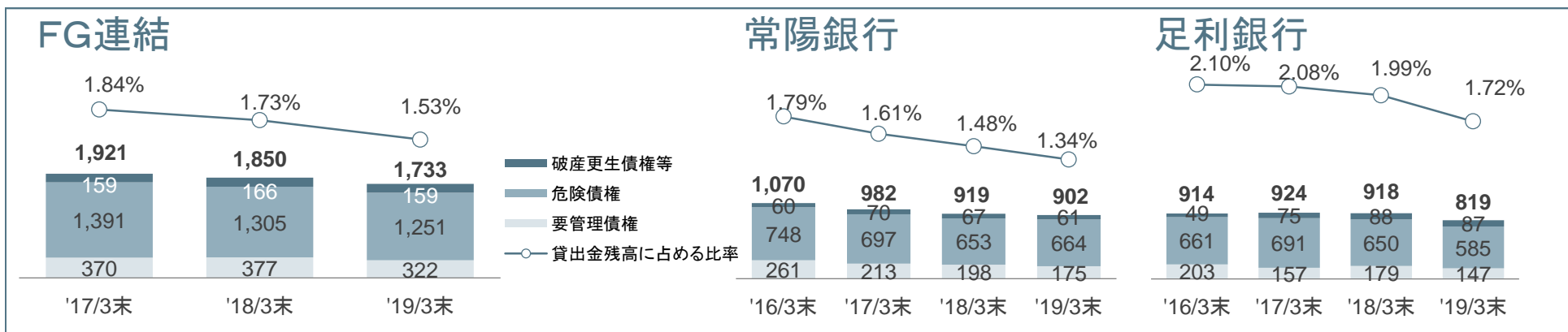


信用コスト・開示債権

2018年度の信用コスト(銀行合算)は与信先ランクダウンの影響により前年度比+13億円増加。



金融再生法開示債権 (億円)



統合シナジー 実績と計画 P/L上の効果

経営統合シナジーは、2018年度計画53億円に対し、85億円(達成率159%)と計画を大幅に上回る。

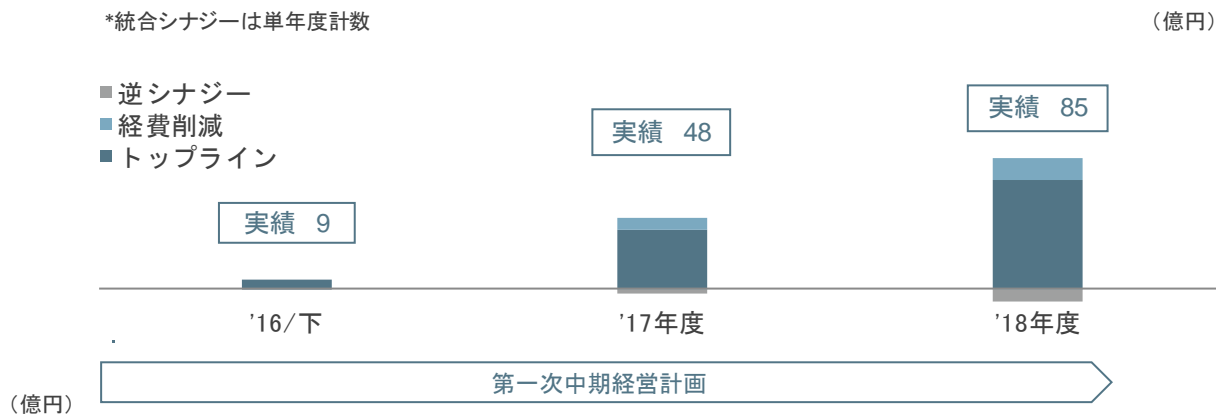
PL上の効果(税引前)

金額(達成率)

'18通期 計画 53億円

'18通期 実績 85億円(達成率159%)

'18年度(実績・通期計画)



項目	通期計画	通期実績	達成率	具体的な施策
貸出金・法人役務	20.2	30.2	149.7%	・広域ネットワークを活用した情報営業強化⇒協調融資、シンジケートローン、取引先紹介、成長分野(医療・福祉等) ・めぶきリース機能の相互活用 ・非対面での推進ノウハウ共有(無担保ローン) ・ネット申込専用住宅ローン(めぶきdeかりかえ)共同開発、女性向け住宅ローン共同展開
預り資産	10.4	6.7	64.9%	・預り資産推進ノウハウの共有 ・めぶき証券機能の相互活用
有価証券	12.3	16.9	137.6%	・各行の投資経験を活かした新領域への投資、新調達手法の取組み ・共同投資の取組み ・モニタリングやパフォーマンス評価の分析手法共有による運用・管理手法の高度化
その他(チャネル・市場国際等)	7.4	25.5	343.3%	・新規出店 ・重点地域への人員増強 ・クロスボーダーローンの取組強化 ・足利銀行における特約付外貨預金の商品導入 ・外貨預金キャンペーンの実施
経費削減	11.4	15.5	135.2%	・経費削減ノウハウ、費用対効果手法の共有 ・情報共有による価格交渉力の向上 ・店舗運営効率化のノウハウ共有 ・東京事務センターの統合 ・手形・小切手、キャッシュカードの共同発行
コスト増加・逆シナジー	△8.5	△9.7	—	・2行間における振込手数料の本支店化扱い ・基幹システム等の移行費用 ・システム片寄費用
シナジー合計	53.3	85.3	159.9%	

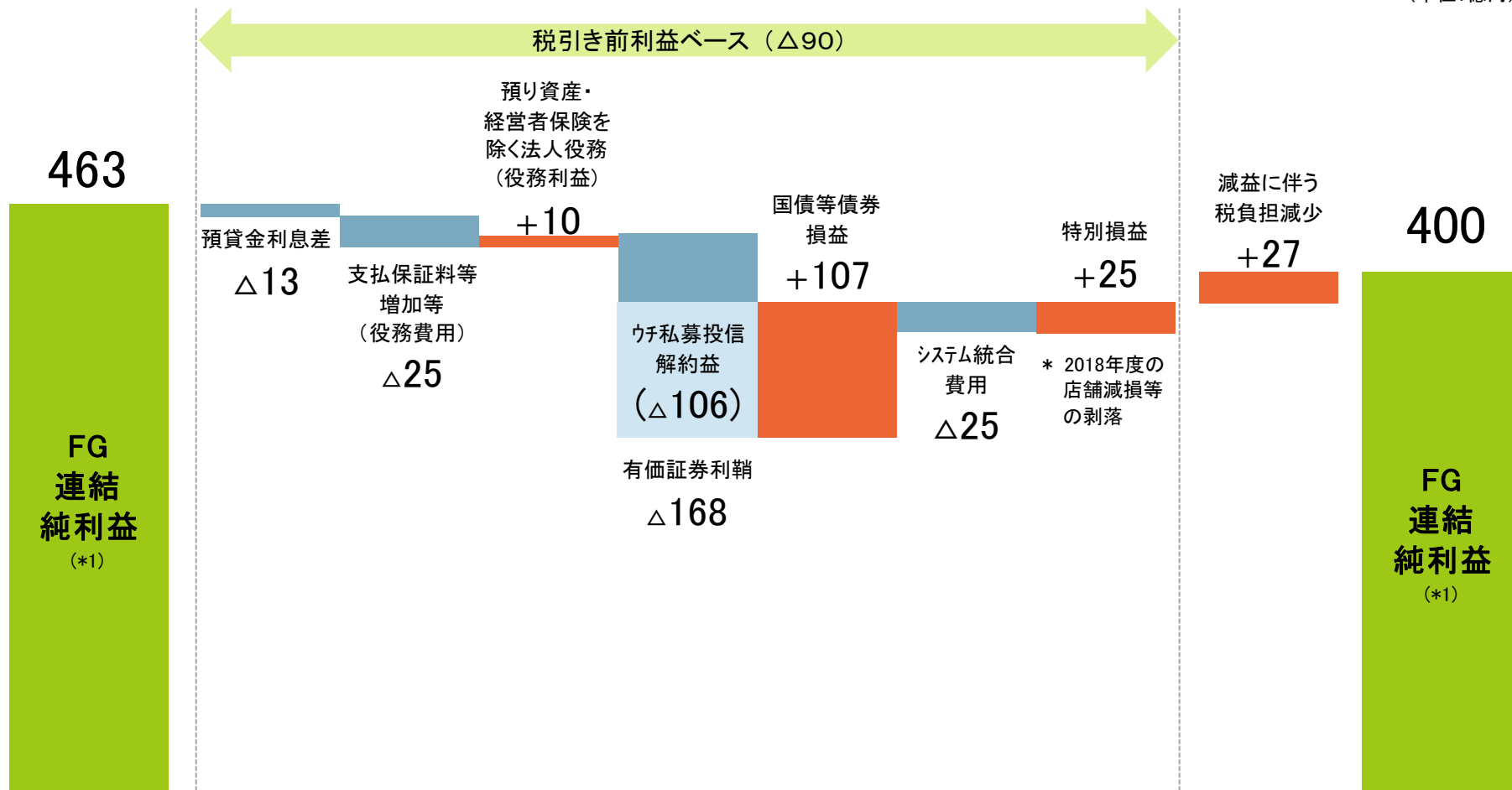
参考: 2019年度業績見通し(FG連結純利益(*1)の増減要因)

* 一部内部管理ベースの計数を使用

FG連結純利益(*1)
(2019年度) **400**億円 (2018年度比△63億円)

(*1)親会社株主に帰属する当期純利益

(単位: 億円)



2018年度

2019年度計画

配当・株主還元方針／自己資本比率

配当・株主還元方針

- 2020年3月期以降の配当・株主還元方針について、下記のとおり変更。

●グループとしての成長に向けた資本の確保と株主の皆さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、総還元性向(*1) 30%以上を目安といたします。

水準等については、引き続き検討してまいります。

(*1) 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得総額) / 親会社株主に帰属する当期純利益

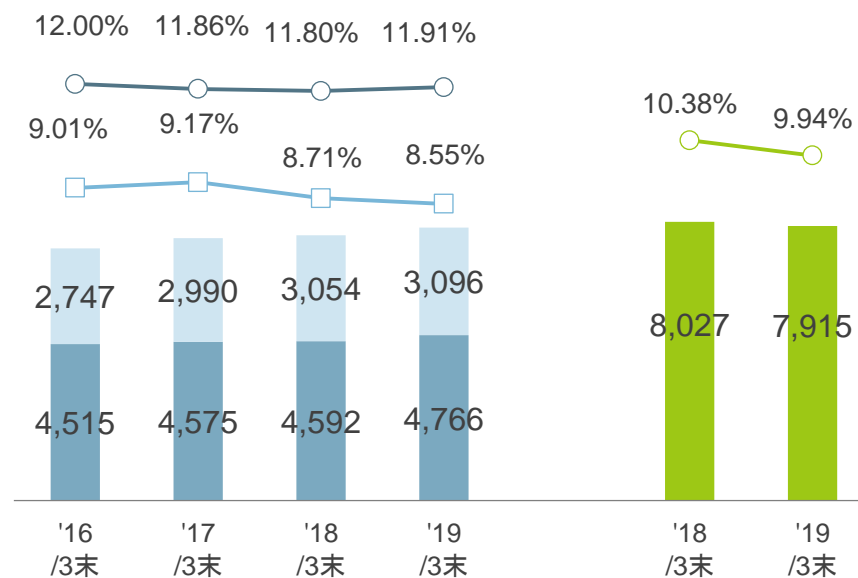
配当

- '19年度は年間11円を予定。

	年間配当	
	中間配当	期末配当
'18年度	11.0円	5.5円
'19年度	11.0円(予定)	5.5円(予定)

自己資本比率

- 常陽銀行 連結自己資本比率
- 常陽銀行 連結自己資本(単位 億円)
- めぶきFG 連結自己資本比率
- 足利銀行 連結自己資本比率
- 足利銀行 連結自己資本(単位 億円)
- めぶきFG 連結自己資本(億円)



※信用リスクアセットの算出方法

めぶきFG | 基礎的内部格付手法

常陽銀行 | 基礎的内部格付手法

足利銀行 | 標準的手法

本件に関する問い合わせ先

株式会社めぶきフィナンシャルグループ経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <https://www.mebuki-fg.co.jp/>

ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより 実際の数値と異なる可能性があります。